

令和 6 年 度 高 岡 市 水 道 事 業 報 告 書

1 概 況

(1) 総 括 事 項

上下水道局では、高岡市上下水道ビジョン「市民とともに 未来へつなぐ 信頼の上下水道」を基本理念に掲げ、「安全」、「強靱」、「持続」の基本方針に基づく各施策事業に鋭意取り組んでいます。

令和 6 年度の水道事業については水需要の減少や物価の高騰など厳しい状況のなか、支払利息等の管理経費の節減に努めるなど、効率的事業運営に努める中で経営基盤の強化に取り組みました。また、今後は令和 6 年能登半島地震を受けての耐震化の加速化が求められるなど、水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

その中でも官民連携の推進については、民間事業者の創意工夫を促し、持続可能な上下水道を構築するため、料金徴収業務委託に給水装置工事関連業務や管路点検調査関連業務等を加えた包括的業務委託を引き続き実施し、業務の効率化を図りました。

また、水道施設整備事業においては、水道アセットマネジメント計画に基づき基幹管路である野村地内配水本管の更新事業をはじめ、老朽配水管や鉛給水管を耐震性の優れた管路に順次更新するとともに、基幹施設整備事業として国吉配水場基幹施設整備事業の送配水管布設替工事や、五位配水区水道施設整備事業の送水管布設工事を行うなど、安全で安心な水道水の安定供給と地震などの災害に強い水道施設の構築に努めました。

令和 6 年能登半島地震における被害については、被災した管路の復旧工事に全力で取り組み、水道事業における災害復旧事業は完了しました。今後は、令和 6 年度に策定した高岡市上下水道耐震化計画に基づき、水道施設の耐震化を進めていきます。

<給 水 状 況>

本年度の水需要は、前年度と比較して総配水量が 129,468 m^3 、有収水量は 125,438 m^3 の減少となりました。

<財 政 状 況>

本年度の収益的収支については、事業収益 3,539,955,864円、事業費用 3,145,484,507円で収支差引 394,471,357円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 1,603,008,474円、資本的支出額 2,762,279,665円で不足する額 1,159,271,191円は、減債積立金 425,353,963円、過年度分損益勘定留保資金 574,699,888円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 159,217,340円で補てんしました。